

# 我が国における先端・重要な研究開発領域の特定 に関する試行分析

- 経済安全保障の観点でCRDS俯瞰報告書の研究開発領域を読み解く

2023年4月

JST研究開発戦略センター(CRDS)\*

\*内閣府科学技術イノベーション事務局の協力の下実施。

# 目次

## 1. 本分析の背景と目的

- 1-1 本分析の背景と目的
- 1-2 取り組みイメージ
- 1-3 諸外国の重要な科学技術を特定する多様な取り組み
- 1-4 分析の対象

## 2. 本分析の実施方法・実施体制

- 2-1 実施方法
- 2-2 実施体制

## 3. 分析結果

- 3-1 研究開発の多様なインパクトからみえてきた技術群
- 3-2 今回の取り組みからの示唆と今後の課題

## 【参考資料】

- 参考1 経済安全保障推進法に基づく基本指針上の「特定重要技術」
- 参考2 JST-CRDS先端科学技術委員会
- 参考3 俯瞰報告書作成プロセス
- 参考4 俯瞰報告書における分野等定義
- 参考5 俯瞰報告書における研究開発領域の概要
- 参考6 諸外国の先行的取り組み事例

# 1-1 本分析の背景と目的

## 背景

技術覇権を巡る争いの激化等を受け、AI、量子、バイオ、半導体等を始めとする先端的分野の技術優位性の確保に向けた取り組みが、各国で活発になっている。米国では2018年「重要新興技術（CETs）」リストが発表され（2022年更新）、豪州においても2021年「重要技術ブループリント」とそれに向けたアクションプランが発表されている。我が国においても、2022年に経済安全保障推進法が可決し、我が国が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術の育成に向けた「経済安全保障重要技術育成プログラム」が設置された。我が国の経済成長と安全保障の両面から客観的かつ戦略的に育成・確保すべき新興技術の特定および技術育成の在り方についての検討は喫緊の課題である。

## 目的

上記背景の下、内閣府科学技術イノベーション事務局より、「研究開発の俯瞰報告書（以下俯瞰報告書）」に基づき経済安全保障の観点から先端・重要な研究開発領域を**マクロに捉える試行的な分析**に関する依頼があった。そこでCRDSでは、俯瞰報告書で示される研究開発領域のインパクトを経済安全保障の観点から評価・可視化することを試行した。

本取り組みは、経済安全保障の観点からの先端・重要な研究開発領域の**「結果」を直接導き出すものではなく、各国で行われている分析フレーム等を参照しつつ、試行的に分析することで、今後の検討の議論に繋げることを目指している。**